

# 『ふるさと創造計画』企画書

3年 7組 9番 (氏名) 島口 華穂	
講座名 D	講座テーマ 伊予市の商店街等の活性化

## 《テーマ》

明るい商店街にしていくには...

## 《ふるさと伊予市の現状の問題点》

- 車の通りが多く、自転車や人が通るスペースが小さいので危ない。
- シャッターが閉まっていたり、空き家が多いので、活気がないように見える。
- 催し物など色々行っているが、若い人があまり来ない。
- 最近では、電話等で注文できるお店が増えてきているので、実際に足を運んで来る人が少なくなっている。
- 町家が近くにあるため、あちろに買い物に行く人が多い。(収集した資料は2枚目に添付)

## 《企画の目的》

- お年寄りだけでなく、若い人も気軽に来ることをできるようにする。
- 空き家を<sup>利用する</sup>子育てなどにより、商店街の雰囲気を変えていくことをできるようにする。
- お年寄りと若い人の交流を深める。

## 《主なポイント》

- ① 空き家を利用して、フリーマーケットを行う。
- ② 商店街にしかならない物、キャラクターを作る。(伊予市にある小・中・高校の力をかりて)
- ③ インターネットを利用して、ホームページを作り、商店街内のお店、建物について詳しく書く。
- ④ 方言(伊予弁)を利用して、お年寄りの方との交流を深める。
- ⑤

《収集した情報》

○

、空き家、空き店舗が多い。

↳ 利用して、出ているお店もある(例: いっしょく亭)

、  
11/12 (土) ... 漢住町商店街 いっしょく亭まつり

↳ さまざまな催し物がある。  
(例: 土曜夜市)

、車の通りが多く、自転車や人が通るスペースが小さい。  
↳ 危しい。



《具体的な企画内容》

① 空き家を利用して、フリーマーケットや方言教室<sup>④</sup>などを行う。

つぶれているお店などが多く、空き家がある。そのまましておくのは、もったいない。だから、その空き家を利用して、フリーマーケットや方言教室<sup>④</sup>、小中・高校(地元)が催し物で使用する<sup>②</sup>などすれば、自然と人が集まってくると思う。実際に空き家を利用して、店舗を活用した交流施設がある。そこは、高齢者の方々が開いており、色々な人が入っているのを見かける。ただ、1店舗しかないため、あまり入ることができていない。たり、若い人は見かけない。空き家、空き店舗を周りに貸し出しするの1つの手では無いだろうか。

② 商店街にしかない物、キャラクターを作る。(地元の小中・高校、商店街のお店の力をかりて)

難町商店街のイメージを考えるとあまりでもない。愛媛県といえば? みかん。伊予市といえば? みかんまる。というようにキャラクターが必要<sup>②</sup>と考えた。そこで、地元の小中・高校や、商店街のお店に力をかりて作れば、自分たちが思う商店街にできるのではないかと<sup>④</sup>考えた。例えば、小学校にキャラクターの案を考えて出してもらおう。この企画は、港南中学校からなので、港南中学校で案をまとめる。そして、高等学校と商店街のお店でそのキャラクターの食べ物やグッズ<sup>①</sup>などを作り、それを空き家(空き店舗)<sup>④</sup>で売る。こうすれば、商店街だけではなく、地元の子どもたちと一緒に考えることができて、難町商店街の印象が強くなると思う。

③ インターネットを利用して、ホームページを作り、商店街内のお店・建物について詳しく書く。

難町商店街のホームページはあるもの、見てみると、各店舗がどこにあるかを注所や文で書いてある。確かにそれもわかりやすいが、大きな地図に目印とすることができるものをのせたりしたらどうだろうか。そうすれば、道がわからなくなる人も、わかりやすくなると思う。そして、ところどころに豆知識のようものを掲載しておけば、どんなところなんだ? とたずねてくる人が増えてくると思う。

考え。

商店街の  
お宝

《具体的な企画内容》

④ 方言(伊予弁)を利用して、お年寄りの方との交流を深める。

昔からある伝統の一つ…伊予弁。…最近の若い人(特に小・中学生)は伊予弁のことや使われている方言のことを知っている人は少ないと思うけれど、高齢者の方は、私たちが長く生きているため、伊予市のことは何でもわかるのではないかと考えた。そこで、空き家(空き店舗)を利用して、高齢者の方を先生とした教室を開くことになれば、普段生活している内での小さな発見が見つかると思った。他にも他県の人に意味等を聞かれても答えることができれば、愛媛への愛が増えていくだろう。身近な場所であればすぐ行けるようになるし、知識を増やすことができる。地元の方との交流も増えるので一石二鳥だ。

現在使われている方言

- ・ ~やけん, ~すけん ⇒ ~たよね
- ・ 行ってこーわい, 帰ってこーわい ⇒ 行きます, 帰ります
- ・ (机などを)かく ⇒ (机などを)さげる

など

あまり使われていない方言

- ・ たじんたん ⇒ ありがとう
- ・ みせい ⇒ 短い
- ・ こまい ⇒ 小さい
- ・ とんと, か。か ⇒ お父さん, お母さん

など



《具体的な企画内容》

①, ④ → <sup>店舗</sup>空き家や古き良き建物を利用しているお店。



まちづくり施設  
郡中まち元気サロン来良夢  
(明治末期の建物)

・来良夢(こらむ)

元:旧伊予農業銀行

明治44年、伊予農業銀行郡中支店として建築された疑洋風建築。

今は、郡中お暮らしを案内する場となっている。



交流施設 郡中いっぷく亭

・郡中いっぷく亭

元:一六タルト本舗

今は、毎週火曜日10時～ くるみ絵教室

〃 木曜日 〃 習字教室

〃 13時～ 手づくり教室

毎月第2金曜日10時～ 777-アレンジメント教室

を行っている。

↑ 習字教室の  
写真



濱田屋 (昭和初期の建物)

・濱田屋

明治25年の老舗。名物は「かつ丼」で100年守り継がれた老舗の味。郡中、子自慢の地元めし。

③ → ホームページをさらに詳しくする。



よいとこ郡中

郡中まちなか情報を満載したサイト。伊予市の中心市街地の様子や歴史からイベント、催事、お祭りや商店街の売出し告知、商店街のお店やいっぷく亭情報など最新ニュースが目白押し。





《実施にあたっての問題点》

- 商店街内のお店が協力してくれるとはかぎらない。→企画内容②
- 空き家、空き店舗を使う際、内装や外装のことを考えなければならぬ。  
↳企画内容①、④
- “ ”、多額の費用がかかってしまう。→企画内容②、④

《ふるさと創造計画 企画書を作成を通して考えたこと・思ったこと》

今まで、ふるさと・伊予市について考えることがなかった。この企画書を作成していく中で、伊予市が今、どういふ状況なのか、ふるさとをどう立ち直していくのかと難しいことが多い。今、考えていることが、将来につながるかもしれない。そう考えるとふるさと・伊予市のことを今までとは違う目線で見たり、聞いたり、感じたりすることが増えたと思う。また、自分が知らなかったことがたくさんあり、興味が増えた。

漢雄町商店街には小さい頃からの思い出の場所の1つであり、その思い出の場所を自分の手で変えていくことができれば地域に貢献できると思った。